

厚生労働科学研究事業補助金（労働安全衛生総合研究事業）

「職域での歯科口腔保健を推進するための調査研究」

分担研究報告書（令和3年度）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が金融業で働く労働者の  
口腔保健に与えた影響に関する研究

分担研究者 吉野浩一（東京歯科大学衛生学講座客員准教授）

#### 研究要旨

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が金融業で働く労働者の口腔保健に与えた影響について調査することが本調査の目的であった。対象年齢は25～64歳までの金融業の正社員とした。金融業とは、銀行、保険、証券会社とした。回答期間は2020年11月24日～29日で、インターネット上でアンケートに記入してもらった。解析対象者は男性1179人、女性498人であった。新型コロナウイルス感染症の影響で歯科への受診行動に変化がみられたと回答した者は、男性で220名（18.7%）、女性で151名（30.3%）であった（ $p<0.05$ ）。また、「受診頻度が減った」、または「受診を我慢した」者は、男性で193名（16.4%）女性で138名（27.7%）であった（ $p<0.05$ ）。対象者の職域で歯科健診を実施しているのは、男性で229名（19.4%）、女性で92名（18.5%）であり、そのうち男性は52名（22.7%）が、女性は17名（18.5%）が新型コロナウイルス感染症の影響で歯科健診が中止になっていた。在宅勤務が始まってから、自分の身体に何か不調を感じた人は男性が161名（13.7%）、女性が100名（20.1%）であった（ $P<0.01$ ）。新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した者は、男性で179名（15.2%）、女性で85名（17.1%）であった。新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、歯科への受診や職域での歯科健診の実施に影響を与えていた。男性より女性の方が歯科への受診を控えていた。

#### A. 研究目的

WHOが2020年3月11日に新型コロナウイルス感染症をパンデミックと認定し、わが国では4月16日に緊急事態宣言が全国に発令された。医療機関では、感染リスクがあるため、厚生労働省は2020年2月13日に医療機関に院内感染防止対策の徹底を通知した。歯科医療でも、スタッフと患者間の感染リスクが考えられたため、患者さんが受診を控えるようになった。そこで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が金融業

で働く労働者の口腔保健に与えた影響について調査することが本調査の目的であった。

#### B. 研究方法

分析に用いたデータは、(株)インテージ社のモニタである。対象年齢は25～64歳までの金融業の正社員とした。金融業とは、銀行、保険、証券会社とした。インテージ社に登録しているモニタの内、本研究に同意を得られた者に、インターネット上でアンケートに記入してもらった。回答期間は2021年11月24日～29日で、各5歳間隔の年齢層で約400名を上限とした。所在地は北海

道札幌市、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県および福岡県とした。その結果、対象者は男性 1179 名、女性 498 名であった（表 1）。

アンケートの調査内容は、地域や年収等の基本属性、口腔内状況や口腔保健行動については、未処置歯の有無、歯磨き回数、昼食後の歯磨きの有無、歯間清掃道具の使用状況、かかりつけ歯科医院の有無、定期的な受診の有無、治療をしない理由等とした。統計学的有意差の検定は、カイ二乗検定を用いた。分析に用いたソフトは SPSS Version 23.0, software (IBM Corp., Armonk, NY, USA) である。

本調査は東京歯科大学倫理審査委員会の承認を得ている(承認番号 1082)。

### C. 研究結果

表 2 に口腔に関する保健行動について示した。一日 2 回以上の歯みがきする者は男性で 948 名 (80.4%)、女性で 468 名 (94.0%) であった。週に 1 回以上歯間清掃用具を使用する者は男性で 570 名 (48.3%)、女性で 322 名 (64.7%) であり、「かかりつけの歯科医」を有していると回答した者は、男性で 737 名 (62.5%)、女性で 386 名 (77.5%)、年に 1 回以上の定期的に受診する者は男性で 573 名 (48.6%)、女性で 331 名 (66.5%) であった。

表 3 に新型コロナウイルス感染症の主に口腔保健への影響について示した。新型コロナウイルス感染症の影響で歯科への受診行動に変化がみられたと回答した者は男性で 220 名 (18.7%)、女性で 151 名 (30.3%) であった ( $p < 0.05$ )。また、「受診頻度が減った」、または「受診を我慢した」者は、男性

で 193 名 (16.4%)、女性で 138 名 (27.7%) であった ( $p < 0.05$ )。対象者の職域で歯科健診を実施しているのは、男性で 229 名 (19.4%)、女性で 92 名 (18.5%) であり、そのうち男性は 52 名 (22.7%) が、女性は 17 名 (18.5%) が新型コロナウイルス感染症の影響で歯科健診が中止になっていた。対象者で「放置している穴のあいた歯がある」と回答する者は男性で 199 名 (16.9%)、女性で 64 名 (12.9%) であったが、その理由として「新型コロナウイルス感染が心配だから」を挙げた者は男性で 18 名 (9.0%)、女性で 11 名 (17.2%) であった。在宅勤務が始まってから、自分の身体に何か不調を感じた者は男性が 161 名 (13.7%)、女性が 100 名 (20.1%) であった ( $P < 0.01$ )。新型コロナウイルスの影響で収入が減少した者は、男性で 179 名 (15.2%)、女性で 85 名 (17.1%) であった。

### D. 考察

健康日本 21 の目標値に過去 1 年間に歯科検診を受診した者の割合を平成 34 年度までに 65% にすることを挙げている<sup>1)</sup>。本調査対象の女性は目標値に到達しており、比較的口腔に関心の高い集団であることが考えられる。新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、歯科への受診や職域での歯科健診の実施に少なからず影響を与えていた。男性より女性の方が受診を控えていた。歯科への受診行動は「収入の減少」と「歯の痛みの頻度の増加」との関連が報告<sup>2)</sup>されているが、本調査対象者では、「放置している穴のあいた歯がある」に関しては別の理由が考えられた。

### E. 結論

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、  
歯科への受診や職域での歯科健診の実施が  
減少し影響を与えていた。男性より女性  
の方が統計学的に有意な差で受診を控えて  
いた。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

今後投稿予定

2. 学会発表

第 95 回日本産業衛生学会発表予定

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

無し

2. 実用新案登録

無し

3.その他

無し

文献

1) 厚生労働省ホームページ：  
[https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000166300\\_1.pdf](https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-10601000-Daijinkanboukouseikagakuka-Kouseikagakuka/0000166300_1.pdf)

2) Matsuyama Y, et al. Dental pain and worsened socioeconomic conditions due to the COVID-19 pandemic. JDR 100:591-98,2021.

表1対象者数

年齢群	男性	女性	合計
25-34	55	100	155
35-44	172	130	302
45-54	455	167	622
55-64	497	101	598
	1179	498	1677

表2 性別にみた対象者の口腔に関する保健行動について

要因	男性		女性		P値
	n	%	n	%	
日に2回以上の歯磨き	948	80.4	468	94.0	P<0.01
昼食後の歯磨き	408	34.6	316	63.5	P<0.01
就寝前の歯磨き	1018	86.3	453	91.0	P<0.05
フッ素入りの歯磨き粉を使用	584	49.5	271	54.4	0.068
歯間清掃用具の使用(週に1回以上の使用)	570	48.3	322	64.7	P<0.01
かかりつけの歯科医が有る者	737	62.5	386	77.5	P<0.01
治療中と回答した者	139	11.8	59	11.8	0.973
1年以内に受診した者	666	56.5	346	69.5	P<0.01
年に1回以上の定期的を受診する	573	48.6	331	66.5	P<0.01

Chi-squared test or Fisher's exact test was used for group comparison.

表3 新型コロナウイルス感染症の主に口腔保健への影響について

	男性		女性		P値
	n	%	n	%	
新型コロナウイルス感染症で受診に関する行動の変化があった。	220	18.7	151	30.3	P<0.01
受診する歯科医院を変えた	9	4.1	5	3.3	
受診頻度が減った	131	59.5	91	60.3	
受診頻度が増えた	14	6.4	4	2.6	
受診を我慢した	62	28.2	47	31.1	
その他	4	1.8	4	2.6	
放置している穴のあいた歯がある	199	16.9	64	12.9	P<0.05
痛くないから	110	55.3	22	34.4	
困っていないから	66	33.2	12	18.8	
診療時間内に行けないから	33	16.6	15	23.4	
費用がかかるから	29	14.6	9	14.1	
仕事が忙しいから	55	27.6	19	29.7	
治療回数がかかるから	45	22.6	15	23.4	
歯医者が嫌いだから	39	19.6	21	32.8	
近くに歯科医院がないから	7	3.5	2	3.1	
新型コロナウイルス感染が心配だから	18	9.0	11	17.2	
その他( )	6	3.0	7	10.9	
職域で歯科健診を実施している	229	19.4	92	18.5	0.684
例年あるが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった	52	22.7	17	18.5	
新型コロナウイルス感染症の影響により、業務量に変化はありましたか(2020年4月～現在)					
増加した	184	15.6	91	18.3	0.372
変わらない	847	71.8	347	69.7	
減少した	148	12.6	60	12.0	
在宅勤務の日数(最頻時)					
週5日以上	190	16.1	92	18.5	0.422
週3～4日	247	20.9	95	19.1	
週2日	194	16.5	77	15.5	
週1日	99	8.4	34	6.8	
週1日未満	69	5.9	27	5.4	
行っていない	367	31.1	165	33.1	
その他	13	1.1	8	1.6	
在宅勤務の日数(現在)					
週5日以上	56	4.7	27	5.4	0.118
週3～4日	113	9.6	33	6.6	
週2日	126	10.7	52	10.4	
週1日	120	10.2	51	10.2	
週1日未満	106	9.0	35	7.0	
行っていない	651	55.2	296	59.4	
その他	7	0.6	4	0.8	
在宅勤務を始めてから、実質の労働時間に変化はありましたか？					
以前より労働時間が長くなった	77	6.5	43	8.6	P<0.05
変わらない	566	48.0	211	42.4	
以前より労働時間は短くなった	157	13.3	75	15.1	
在宅勤務が始まってから、自分の身体に何か不調を感じたことはありましたか？					
はい	161	13.7	100	20.1	P<0.01
新型コロナウイルスの影響で収入に変化はありましたか？					
増加した	26	2.2	12	2.4	0.331
変わらない	974	82.6	401	80.5	
減少した	179	15.2	85	17.1	